

石川県金沢市

安全な原料、地域の食材で作った健康志向のお菓子を、世界の家族みんなに届けたい

1918年に設立し、第2次世界大戦中は乾パン・乾燥飯を、戦後はビスケット、クッキー、米菓、煎餅等の菓子を製造・販売。近年は地元食材を活かしたビスケットや、「ビーバー」等の地産・地消の製品、ムーミン、サンリオ、ドラえもん等の人気キャラクターのコラボ商品等、多種多様な製品を手掛ける。添加物不使用や食物アレルギー対応の商品開発にも積極的に取り組み、安全・安心を最優先した、世代を超えて愛されるお菓子作りを目指す。

●所在地	石川県金沢市押野2丁目290-1
●電話/FAX	076-243-1000/076-244-6686
●URL	https://hokka.jp/
●代表者	代表取締役社長 高崎 憲親

●設立	1918年
●資本金	5,000万円
●従業員数	110人



健康志向の時代に応える、素材を活かした安心・安全なお菓子

基本製法は創業以来100年間変えていない。素材本来の味を最大限に引出すため、余計なものは極力入れず、飽きのこないシンプルなおいしさを大切に、家族みんなで食べたい安心なお菓子を丁寧に作る。現代では、おいしいだけでなくカロリーや原材料にこだわった商品が好まれ、食物アレルギーに悩む人も増えた。これまでの商品イメージは守りながら、健康志向の高まりを受け、「素材でカラダ想い」シリーズの商品開発に積極的に取り組むとともに、ベビーフード事業への参入も視野に入れている。



女性中心の企画開発チーム

地元や北陸の地域資源を活用したお菓子で、地域を活性化

「米蜜ビスケット」は、長い歴史を持つ「飴の俵屋」の「じろあめ」、(株)ヤマト醤油味噌の「玄米甘酒」を使用して料理研究家と共同開発した。地元企業と連携し、金沢の地域資源を活用した、会社を代表する菓子である。富山の白えびを使用した「ビーバー」は、米国NBAの八村塁選手のチームメイトのSNSがきっかけで人気商品となった。今後は北陸を世界に発信する地元キャラクターとして育てながら、さらなる輸出促進に繋げていきたい。



ビーバー(菓子とキャラクター)

企業理念「世界に笑顔とおいしさを届ける」の新たな挑戦

国内市場減少のなか、いち早く海外販路の獲得に目を向けるとともに、アジアでのキャラクター商品の人気を踏まえ、サンリオ、ドラえもん、ムーミン等の人気キャラクターのビスケット、クッキーの販売を開始した。2015年から輸出を本格化し、原則的に各国に総代理店を置き、一社独占販売を実施。現在は中国、韓国、台湾、香港、マカオ、ベトナム、カンボジア、タイ、マレーシア、シンガポール、豪州、米国等、13か国へ輸出し、輸出額は全売上の10%を占める。生産性向上に向けた設備投資に加え、食の安心安全及び輸出における品質管理の目的でHACCPの認証を取得し、付加価値向上に取組む。



サンリオ、ドラえもん商品